

南部・東部地区 「えびす湯」

市内中心部にある銭湯「えびす湯」を知っていますか。
大正4年創業、今年で104年を迎える老舗です。
今回は、その「えびす湯」が地域住民の交流の場になっていることを紹介します。



生活支援コーディネーター
小野 憲幸さん



「えびす湯」は、地域に根差し住んでいる人たちの想いを大切に営業してきました。

東日本大震災発災当時、断水のため営業ができませんでした。発災から2週間後に水道が復旧し、地域の皆さんに開放するためすぐに営業を再開しました。多くの人が集まり、外まで行列が続きました。

今もなお、地域の皆さんに親しまれ、営業日は、開店と同時にお客さんが来店します。銭湯の雰囲気好きな人や長年通っている人などが集まり、裸の付き合いで話が盛り上がります。このような、何気ない「いつもの場所」「馴染みの場所」で自然なつながりが生まれています。

店主の赤井尚武さんは「いつも楽しみにして来てくれる人たちがいるから、その人たちがいる限り続けていきたいね」と話してくれました。



えびす湯

住所

▶南町 1-16

営業時間

▶(火)(木)(土)16:00~18:30

店主

赤井 尚武さん

☎長寿社会課地域支援係 ☎364-1204

今学校では... 71

小中一貫教育 ~二中学区の取り組み~

1学期の小中一貫教育の取り組みとして、市内小中学校で全20回の授業研究会を行いました。二中学区では、7月11日(木)に学習院大学特認教授の佐藤 学先生を講師に迎え、授業研究会を開催しました。



「共有の課題」と「ジャンプの課題」

「学びの共同体」による授業は、誰もが理解すべき「共有の課題」と、学んだ知識を活用して挑戦する「ジャンプの課題」の2つの課題でデザインします。

二中学区の授業研究会では中学1年生社会科の授業が公開され、はじめに「共有の課題」として「世界の宗教の分布」についてグループで確認しました。次に「ジャンプの課題」として「宗教は人々の生活にどのように結びついているのか」をグループで学び合い、一人ひとりが学びを深めました。

「ジャンプの課題」で学びに夢中に

佐藤 学先生から「担任の先生と子どもの信頼関係がしっかりしていた。子どもは『ジャンプの課題』のときに夢中になる。学びに夢中になれる子どもは最高に幸福である」と助言をいただきました。

今後もどの子ども「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくりを目指します。



☎学校教育課学校教育係 ☎365-3216



塩竈市独自の小中一貫教育の取り組みは市ホームページからも見ることができます。

